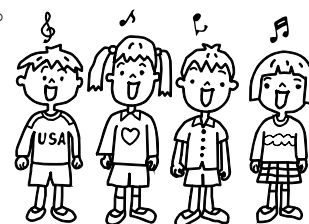


## (5) 嬉野市の学校評価の基本方針5点からの「基本スタンス（考え方）」

この5点を嬉野市の学校評価の基本ベースとしています。  
そして、各学校の具体的な学校評価の取組に繋げています。

学校評価は、評価のための評価に陥ることなく、子どもたちを主に置いて、学校をどう改善していくかを見つけ出すことが肝要です。



方 向 性	方 策
<b>① 学校関係者評価の基本スタンス</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あくまで学校自己評価を補完する学校関係者評価をいかに進めるか。</li> <li>○ 何を求めるか、何をいただくかでなく、何をつかむか。</li> <li>○ 何を意図して、情報を発信し、評価をいただくのか。</li> <li>○ 関係者を学校内に取り込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校自己評価に、客観性、透明性を与える学校関係者評価の進め方の工夫</li> <li>○ 学校理解、及び評価の的確性の限界に対する方策の工夫</li> <li>○ 評価項目の意図は、目標、方策、評価、改善の一貫したPDCAサイクル</li> <li>○ 職員会議（学力向上、生徒指導）、校内研修（学校評価）で、全職員と一緒に協議</li> </ul>
<b>② 学校改善の基本スタンス</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価を待つ、評価をしていただくのではなく、子どもたちために、ビジョンを持って学校をどう変えるか。</li> <li>○ 学校を開いて、理解していただく。</li> <li>○ 学校改善を迅速に推進する。</li> <li>○ 学校の実態に即した学校評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校改善のための一手段としての学校評価であり、特別な実践ではないという共通理解と共通実践</li> <li>○ 学校理解のための情報発信の工夫</li> <li>○ 時間の確保と速やかな改善</li> <li>○ 学校独自の学校評価体制の構築</li> </ul>
<b>③ 教職員参画の基本スタンス</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校のために何ができるかというモチベーションを高める。</li> <li>○ 一人一人の参画意識から、組織力へ繋げる。</li> <li>○ ボトムアップによる共通実践を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校務分掌のPDCAサイクルについての有益感及び必然性の認識の工夫</li> <li>○ 一人一人がクリエイティブに考え、提案、実践する評価。組織マネジメントによる共通実践</li> </ul>
<b>④ 地域との一体化の基本スタンス</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に何をしてもらおうかでなく、地域に何ができるか。</li> <li>○ 開いて待つ学校から、開いて出る学校へ変革する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受け身でない、積極的な働きかけを意識した体験活動</li> <li>○ ボランティアを待つのではなく、出かけていくボランティアの工夫</li> </ul>
<b>⑤ 小中連携の基本スタンス</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9年のスパンで、児童生徒の成長と変容を見守り、支援する。</li> <li>○ 9年のスパンで、学校改善のための学校評価を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9年のスパンでの教育課程編成。小中交流による学習指導、学校行事等の推進</li> <li>○ 9年を見通した学校評価の工夫からの学校改善</li> </ul>